

## 1 事業の目的・背景

道路や河川といった公共施設の機能を適切に維持していくため、毎年、県内各地の道路法面や河川護岸法面の除草を実施しており、道路で 411,619 千円 / 年 (平成 22 年度実績)、河川で 183,490 千円 / 年 (平成 23 年度実績) と多額の費用を要している。

また、ボランティア制度による除草を実施している地区も存在するが、多くの延長は望める状況にない。

このような状況において、今後整備する道路や河川施設に対して、除草作業を要しない雑草抑制効果のある法面植生の調査検討を行うことを目的として、試験施行箇所の追跡調査及び効果検証を行う。

## 2 調査・検討内容

現在事業中の箇所 (道路の法面等) を 2 箇所選定し、雑草抑制効果があると言われている「センチピードグラス (和名: ムカデ芝)」の試験施工を行い、植生毎の施工後の生育状況、養生管理の容易さ、雑草抑制効果等について、追跡調査及び効果検証を行う。

対象道路

岩美インター線      倉吉道路

[ムカデ芝試験施工状況: 倉吉道路]

施工 30 日後 (H26.6.24 撮影)



未施工箇所 (H26.8.6 撮影)



施工 70 日後 (H26.8.6 撮影)



施工 70 日後 (H26.8.6 撮影)



## ムカデ芝接写状況



### 3 効果検証（中間報告）

#### 【倉吉道路】

平成 26 年 5 月下旬に法面吹付け工完了、6 月下旬ムカデ芝の発芽を確認。

施工後 70 日で発育状況を確認。

- ・ムカデ芝の被覆率は高く、他の種類の草木は殆ど見られない。

ムカデ芝の全面緑化の初期判断としては順調と判断できる。

- ・今後は他の草木「秋草・冬草」の進入について、観察しながら除草を行う予定。
- ・接写状況の写真から、ムカデ芝の生長が旺盛であることが確認できる。ムカデ芝の徒長を防ぐため、9 月中にはムカデ芝を 3 c m 位の長さに刈ることが必要になる。